

令和4年度の重点課題

○男子
・「長座体前屈」「立ち幅跳び」「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。総合評価を見ると、特に1・2年生の体力が低い。

○女子
・「握力」「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。

○運動意識調査
・男女ともに、運動の大切さについて肯定的に捉えている児童が100%であった。しかし、「外遊び週に4日以上している」と答えた児童は、86.1%であり、運動の大切さは感じていても、実際に体を動かすことにつながっていない児童が2割程度

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○「長座体前屈」を高めるために、体育科の授業で、ブリッジやストレッチを行った。また、職員研修では、体幹トレーニングとして「ねこちゃん体操」の研修を行い、授業で実施した。

○「ボール投げ」を高めるために、体育科の授業で、投力を鍛える運動を取り入れた。フォームをリズムで覚えさせたり、強く遠くに投げる必然性のある内容を考えた。

○「50m走」を高めるために、体育員委員会が走るポイントを整理した動画を作成し、全校に発信した。

○外遊びや運動の楽しさを感じることができるよう、児童会と体育委員会が「なわとび大会」「縦割り遊び」を企画・運営したり、

令和5年度新体力テストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

Table with 14 columns: 男子, 握力, 上体起こし, 長座体前屈, 反復横とび, 20mシャトルラン, 50m走, 立ち幅とび, ボール投げ, 体力合計点, 女子, 握力, 上体起こし, 長座体前屈, 反復横とび, 20mシャトルラン, 50m走, 立ち幅とび, ボール投げ, 体力合計点. Row 1: 第5学年, 19.23, 23.03, 33.51, 49.57, 63.00, 9.13, 162.66, 22.97, 59.18, 第5学年, 18.37, 21.89, 40.07, 49.18, 50.37, 9.15, 154.39, 15.70, 63.05

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果(県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較)

Table with 14 columns: 男子, 握力, 上体起こし, 長座体前屈, 反復横とび, 20mシャトルラン, 50m走, 立ち幅とび, ボール投げ, 体力合計点, 女子, 握力, 上体起こし, 長座体前屈, 反復横とび, 20mシャトルラン, 50m走, 立ち幅とび, ボール投げ, 体力合計点. Row 1: 第5学年, 19.23, 23.03, 33.51, 49.57, 63.00, 9.13, 162.66, 22.97, 59.18, 第5学年, 18.37, 21.89, 40.07, 49.18, 50.37, 9.15, 154.39, 15.70, 63.05

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

Table with 10 columns: 男子, 好き, やや好き, やや嫌い, 嫌い, 女子, 好き, やや好き, やや嫌い, 嫌い. Row 1: 第5学年, 80.0, 14.3, 2.9, 2.9, 第5学年, 65.79, 31.58, 2.63, 0.00

学校独自の意識調査

児童が集中して学習したり、元気に運動したりする体をつくるために、年に4回「生活リズムチェック」の取組を行っている。その項目の一つである「外遊びをした」については、全校達成率1学期は、83%、2学期は、84.9%であった。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・授業の導入で行う「東小サーキット」を発達段階ごとにメニューを統一し、体力向上を図る。
・「50m走」においては、リレーやさまざまな動きを取り入れた短距離走を行い走力を高める。
・「長座体前屈」においては、授業のはじめに個人や二人組で行うストレッチや「ねこちゃん体操」を取り入れることで、自他の成長を感じ、楽しみながら柔軟性を高めることができるようにする。
・「ボール投げ」においては、投力が高まる内容が組み込まれた単元開発を行い、授業で実施する。

体育の授業以外で行う取組内容

- 体育的行事
・チャレンジカードを活用し、持久走や縄跳びなどに意欲的に取り組むことができるようにする。
○児童会行事
・児童会執行部や体育委員会を中心に、「長縄跳び大会」「外遊び紹介」「ランランタイム(持久走練習)」を企画・運営し、体を動かすことへの意欲を高めるようにする。
○外部講師招聘
・陸上競技において外部講師を招聘し、走り方のコツを学んだり、走ることへの意欲を高めたりする。

重点課題

- 【情意面での課題】
・運動やスポーツをすることが「ややきらい」「きらい」と答えた児童の割合が、男子は7%(前年度3%)であり、女子は5%(前年度4%)であった。
・男女共に、否定的な回答をした児童のほとんどが運動が苦手な児童であった。
【体力面での課題】
○男子
・「50m走」「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
○女子
・「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
○全体

令和6年度の重点目標値

- 新体力テストの総合評価のAB率を55%以上、ED率を17%以下にする。(今年度:AB率50%, ED率22.3%)
○「50m走」「長座体前屈」「ボール投げ」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
○運動やスポーツをすることが「ややきらい」「きらい」と答える児童の割合を、男女共に3%以下にする。
○1日の運動時間が30分未満の児童の割合を10%以下にする。